

低圧発電所のリパワリング

背景

- ・ 低圧太陽光発電所（出力50kW未満）のリパワリングは、経年劣化した設備の性能を回復・向上させ、FIT（固定価格買取制度）期間中の収益を最大化します。
- ・ 低圧太陽光発電所はFIT買取価格が高い時期に認定を受けていることが多く、リパワリングによる発電量増加は、高単価での売電収入増加に直結するため、費用対効果が高くなる傾向があります。
- ・ 気温の上昇期間が従来より長いため、除草の回数も増え、維持管理費が上昇しています。

メリット

- ・ 売電収入の増加: 劣化した機器の交換や最新技術の導入により発電量が増加し、特に残りのFIT期間が長い設備ほど、トータルでの収益改善効果が大きくなります。
- ・ 故障リスクの低減と保証: 経年劣化した機器を新品に交換することで、機器故障による発電停止リスクが減り、新たなメーカー保証が付帯されます。
- ・ 発電所の資産価値向上: 適切なリパワリング履歴は、発電所の保守状況が良い証明となり、将来的な発電所売却時の査定額アップにつながる。
- ・ 現状のパネルを利用することで、設置面積が減少し架台の離隔を十分とることで除草の機械化にすることで、維持管理費を抑える。

- ・ 低圧太陽光発電所のリパワリングとFIP転（FIP制度への移行）を併用することは、収益最大化を目指す上で非常に有効になる。